

1. 事業名：歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止に関する調査事業
2. 申請者名：一般社団法人福岡市歯科医師会 会長 神田 晋爾
3. 実施組織：一般社団法人福岡市歯科医師会
4. 事業の概要 健康で質の高い生活を営む上で、定期的な歯科健診や歯科診療の受診を通じて口腔の健康を保持・増進することは、重要な役割を果たしている。 令和 5 年の国民健康・栄養調査において、「過去 1 年間に歯科健診を受診した者」の割合は 58.8%であり、市町村が実施する歯周疾患検診の受診率は約 5%（推計値）に留まっている。これら歯科健診（検診）受診率の低さの要因として、健診時間の長さや、患者が客観的に納得しづらいという問題点が挙げられており、実施する歯科医師・歯科衛生士の不在や時間的負担も課題となっている。一般的に歯周病は自覚症状のないまま進行するため、定期的な検査による早期発見が重要とされているが、先述のとおり、早期発見の機会を得られていないのが現状である。 福岡市歯科医師会では、6 月と 10 月に行われるイベント「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」と「デンタルフェア 2024」、さらに 11 月の「第 45 回ふくおか市民糖尿病教室」を利用して、短時間で歯周疾患のリスク評価が可能なスクリーニングツール歯周病原因菌酵素測定試薬（簡易検査キット：アドチェック）を用いた歯周疾患簡易検診を行う。 市内でのイベント等において、歯周疾患リスクを簡易に判別する事で、歯周病予防の「見える化」が容易で、市民の自発的な健康づくりを促すこととなり、8020 運動の達成をさらに推進することが期待される。
5. 事業の内容： 広く地域住民と接する事のできるイベント（福岡市民の健康を歯と口から守る集い・糖尿病教室）を利用して、歯周疾患のリスク評価が可能な簡易検査キット（アドチェック）を用いた検診を行った。検査結果をもとに、市民の口腔内への関心を高めるとともに、歯科医院への受診による適切な口腔ケア及び治療への能動的なモチベーションの向上に繋げた。 ①福岡市民の健康を歯と口から守る集い R. 6. 6. 9.（日） 会場：三井ショッピングパークららぽーと福岡（福岡市博多区竹下）：193 名 ②デンタルフェア 2024 R. 6. 10. 20.（日） 会場：福岡県歯科医師会館（福岡市中央区大名）：86 名 ③ふくおか市民糖尿病教室 R. 6. 11. 17.（日） TKP ガーデンシティ天神スカイホール（福岡市中央区天神）：200 名 合計 479 名 その際に、ホームページやインスタグラム、フェイスブック等の SNS を利用し、口腔環境の重要性について啓発を行った。 高齢者に対しても保健所や公民館等で市民向けに出前講座を行い、口腔機能検査・訓練についてその重要性を周知し、地域住民が集う場所にパンフレットを設置し配布した。
6. 実施後の評価（今後の課題）： 6 月と 10 月に開催した「福岡市民の健康を歯と口から守る集い」「デンタルフェア 2024」11 月の「福岡市民糖尿病教室」それぞれに於いて、アドチェックによる歯周病簡易検査は高い関心を得られた。元々糖尿病患者は歯周病に対して関心が高いと推察されるが、来場者の年齢や歯科への関心度がバラバラな市民対象のイベントに於いても、他のブースに比べて最も集客が多く行列が出来るほどで、福岡市民の口腔（歯周病）への関心の高さを実感した。検査後の結果説明では今後の口腔健康管理の方法や定期的な歯科受診の必要性についてお話したが、質問も多かった。3 つのイベントを通じての検査結果はスコア A（良好）401 名：83.7% スコア B（軽度歯周炎リスク）68 名：14.2% スコア C（重度歯周炎リスク）10 名：2.1% であった。今後の課題はイベント参加者の行動変容によって、かかりつけ歯科医院にて精密検査や治療等が行われ、リスク検査データと実際の口腔内との乖離度合いを狭められる様なリサーチ方法を構築していきたい。今後も市内で行われるイベント等で積極的に本検査を行い、その後の歯科医院受診に繋げ、データの集積を行いつつ、8020 運動の達成をさらに推進していきたいと考える。